

研究実施のお知らせ

2025 年 10 月 1 日 ver.1.0

研究課題名

緑内障ベストプラクティスを可能とする人工知能モデルの作成

研究の対象となる方

2005 年から 2025 年 9 月の間に島根大学医学部附属病院で緑内障の検査や治療を受けられた方

研究の目的・意義

診療記録の情報をもとに、緑内障の進行判定や最適な治療法を選択することのできる人工知能（AI）を作成します。本研究は、すべての眼科医師が、当院の緑内障を専門とする医師と同様の診療を行うための助けとなる AI を作成することを目指すもので、医学的にも社会的意義のあるものです。

研究の方法

緑内障と診断された患者さんの診療記録から、以下の情報を抽出します。

- 1) 年齢・性
- 2) 眼科病名
- 3) 全身背景情報：既往歴、手術歴、手術合併症、治療薬、血圧、脈拍、身長、体重
- 4) 眼科背景情報：既往歴、手術歴、手術合併症、治療薬
- 5) 眼科検査情報：視力、眼圧、屈折度数、眼軸長、角膜内皮細胞数、角膜厚、前房フレア値、視野、眼球計測情報
- 6) 眼科画像：前眼部写真、隅角写真、眼底カメラ画像、OCT 画像、手術動画

島根大学で収集されたデータは、同志社大学に送付し、解析を行います。島根大学から同志社大学への情報提供は、氏名、患者 ID を削除したうえでおこない、研究対象者の識別は研究用に付与する識別番号によって行います。データ送付は、データファイルにパスワードを設定した上で、ファイル容量に応じて、デジタル記録媒体の郵送、データ転送サービス、または eメールのファイル添付により行います。収集したデータは、島根大学医学部眼科講座内および同志社大学生命医科学部内の外部から容易にアクセスできない PC に保管します。PC にはセキュリティを設定し、パスワードで利用可能な研究者を制限します。

これらのデータより緑内障の専門医と同等レベルの治療方針を示すことのできる AI を作成します。取得した診療記録について、一部を教師データとして AI 作成に用います。また、残りの一部を AI がきちんと作成できているかを検証するためのデータとします。

研究の期間

2025 年 11 月 17 日～2035 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）	研究機関の長
島根大学医学部眼科学講座	教授・谷戸正樹
	医学部長・竹谷 健

参加研究機関	研究責任者	研究機関の長
同志社大学生命医科学部	教授・奥村直毅	学長・小原克博

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

統括研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座／附属病院眼科 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278